

2008年11月7日

報道関係者各位

楽天証券株式会社

信用取引保証金における資金活用の効率化について

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、2008年11月10日（月）より、信用取引における差入保証金をより効率的に活用できるシステム対応を実施いたします。

内容・ねらい

弊社における従来の仕組では、信用取引の「保証金現金」の資金を現物株式の買付や現引代金に充てる場合には、お客様ご自身で資金を「保証金」から「預り金」へ振り替えていただく必要がありました。今回のシステム対応によって、一定の条件の下で、「預り金」への振替を行わずに「保証金現金」のまま現物株式の買付や現引注文を行っていただくことが可能となります。

当サービスにより、お客様が信用と現物双方のお取引される際の利便性の向上、ならびに効率的な資金活用を実現いたします。

弊社におきましては、お客様の多様な投資ニーズに応えるため、今後とも積極的に信用取引サービスの拡充を行ってまいります。

実施時期

サービス開始日時：2008年11月10日（月）のご注文より

【手数料等およびリスクの説明について】

弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「リスク説明」ページに記載の当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

[「リスク説明」についてはこちらをご覧ください](#)

商号等：楽天証券株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会